

台湾在宅医療学会からの防護具寄贈について

NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
会長 小倉和也

このたび私ども NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークが協力協定を締結している台湾在宅医療学会が、日本での新型コロナウイルス感染対策を支援しようと国内で寄付金を募り、日本の医療介護現場に洗える防護具（ガウン）を寄贈されることとなりました。数日で 100 万円以上をご寄付いただいた同学会と台湾の方々のご厚意にお応えできるよう、適切かつ迅速に必要な各地の医療介護現場にお届けできるよう、ネットワークとしても全力を尽くしたいと考えております。

配布にあたり、配布基準および手順を以下のように定めさせていただきます。

<配布基準>

- ・当該地域・施設の在宅医療の現場での医療介護関係者が、現在新型コロナウイルス対策のために防護具を必要としており、供給の見通しが立っていない状況にあること。
- ・日本在宅ケアアライアンス作成による「在宅ケアにおける新型コロナウイルス感染対策について」に従い、感染対策および適切なケアと防護具の使用ができること。
- ・地域内での適切な配分・配布と、活用について簡単な報告を行うことができること。

<配布手順>

- ・ネットワーク会員および連携する団体などを通じて在宅・介護事業所などでのニーズ情報を収集。
- ・会員・事務局が当該地域の事業所・医療機関などに電話等で聞き取りを行い配布の可否・方法・数量などを決定し送付する。

このような形で、事業所・医療機関単位ではなく、在宅医療・介護事業所において必要度が高い地域・事例ごとに一地域 20 - 30 着（一事業所あたり 10 着を目安とするが内訳は地域で配分可能とする）を目安に迅速にお届けできるよう努めたいと考えております。

つきましては、地域におけるクラスター発生や在宅ケアの現場における防護具の不足などの情報がございましたら、当ネットワーク担当窓口までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

連絡窓口 e-mail: sizairenkei@sasaeru-net.org